

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 4月 1日

事業所名 運動&学習療育 あなたが宝モノ 貝塚王子教室



事業所による自己評価の令和5年度の結果を公表します。
自己評価結果や保護者等アンケート結果をもとに支援の質向上に努めていきます。
これからも運動&学習療育 あなたが宝モノ 貝塚王子教室をどうぞよろしく
お願いいたします。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	73%	27%	・朝礼で自分の意見をみんなの思いに言えている	・Googlechromeを活用し、多種多様な情報共有、更新を行っている ・療育業務に関わらないスタッフに関しては、取り組みの内容を伝えていく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	73%	27%		・業務改善に繋がっている ・ドライバーなどピンポイントで携わるスタッフにも共有をしていく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	91%	9%		・公開している
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	64%	36%		常時、コンサルティング会社や顧問弁護士に評価いただき、改善に努めている。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	91%	9%		・リタリコ、Kaizen、感覚統合会、コグトレ、児童発達支援センターなどの研修に参加している
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	91%	9%		児童発達支援管理責任者とともに責任者を設定し、計画通り進めている
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	91%	9%	・JSI-MINI等始めている	・使用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	91%	9%		・事前に担当を決めてマニュアルの整備、模擬を行い責任を担保している ・朝礼時に当日のご利用者様の共有を行っている
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	91%	9%	・たまにレクリエーションを取り入れている ・SSTやレクリエーションなども取り入れている。	・年間スケジュールを作成し、変化させている
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	91%	9%	・療育場開放や学習の時間を設けている。 ・1日通しのご利用者様もいるため、間にレクリエーションや創作活動を行っている。	・設定している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	91%	9%	・必要に応じて個別と小集団の機会を作っている。 ・個別と小集団を組み合わせている。	・作成できている
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	91%	9%		・朝礼時に共有を行っている
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	91%	9%	・次の日に実施	・当日、もしくは翌日に振り返りを行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		・実施している。
関係機関や保護者との連携	18 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	91%	9%		・半年を目途にモニタリングを行っている。 ・朝礼時にご利用者様の目標達成度合いについても共有している
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	82%	18%		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	91%	9%		・参加している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	91%	9%		・保護者様を通して行っている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	36%	64%	・医ケア児がいない。 ・現時点で該当者がいない ・現在は医療的ケアが必要なご利用者様はいない。	・現在は該当する方がいないが、利用がある場合は連携を取って行く
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	45%	55%		・現在未実施のため、今後実施をしていく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	18%	82%	・対象児が今までのいない ・現時点で移行者はいない ・移行した方がいない ・移行した方がまだいない	・今後行っていく
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	18%	82%		・現在未実施。今後実施をしていく。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9%	91%		・現在未実施。今後実施をしていく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	18%	82%	参加のお願いを1度だけお誘い頂いたので研修に参加した。	・現在参加はできていないので、今後参加のために働きかけている。
保護者への説明責任等	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	91%	9%		・持っている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	36%	64%		・定期的に保護者向けのセミナーを開催している
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	82%	36%		・実施している。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	91%	9%		・実施している。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9%	91%		・親子イベントは実施しているが、保護者同士の連携は今後取り組んでいきたい
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	91%	9%		・対応している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		
	35 個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9%	91%		・現在は未実施。今後実施をしていく。
その他	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	91%	9%		・周知している。
	39 非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っている	82%	18%		毎月、様々な場合を想定して避難訓練を行っている

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	64%	36%	・保護者様からの情報のみ ・食事の提供はしていない。おやつはアレルギーの人は持参されている。	・事前にアレルギーの有無は保護者様に確認をし、主治医の指示書がある場合はそれに基づいて対応をする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		